

。 名家 演名納豆 曲入 五多

暮おろきも四谷すざりり紙草履と桃青翁吟せり
 よりの嵐子も口号の花の春黄鳥よりも鳶風小令や
 春めく繁花の地霞村てふいよも遠江よ名も
 高き濱名郡の大福寺小製一初たる納豆
 いろ花洛よ弘も浪花津のより何いも
 一筒の雅品東都は似奇の名にあきとも仕入
 ば従来風味やを異なる元祖の多きも製今
 般手廣小賣弘もい尋て来はせ江戸すめ
 お宿はといも呉竹の四谷でさめて大横丁
 すいたらしいと御具以負を荷馬の鈴の音高く
 秋丸太の末長く高評を賜らば萬年榎の
 限なく朽きぬ店の繁榮なるんと亭主小
 代りて志をいげ小詞の花を咲するものを
 菖蒲屋のあはれも夢豆

東海道新井宿 仲屋竹三郎製
 江戸四谷御門外大横丁

賣弘所 三河屋瀧藏

